



病院探訪!!

第2回

～中央放射線部～



病院探訪!! 第2弾は中央放射線部の紹介です。知っているようで知らない、診療放射線技師の役割と放射線検査についてのお話です。

西和医療センターの中央放射線部は診療放射線技師・放射線科医師・検査科看護師・受付事務員の多職種で構成され、約45名で検査業務に従事しています。検査内容も一般撮影・CT・MRI・血管撮影・核医学など多岐にわたり、それぞれの場所で検査を行っています。今回は診療放射線技師の一日の業務とみなさんから日頃よく受ける質問について紹介していきます。

8:30 朝礼

朝礼では各部門より業務内容、装置状況の報告、連絡を行います。また当直業務中の引継ぎ事項やトラブルはなかったかななどの情報を部内の職員で共有します。



忙しい一日のスタート！
前日や夜間、当日の情報共有から
業務は始まります☺



9:00 検査業務

一般撮影、CT検査、MRI検査など各診療科医師のオーダーに従って検査を行います。各検査室での検査はもちろん、手術室や病室に機器を持ち込み、手術支援や検査を行っています。



一か所に留まらず
病院内のいろいろな場所で
業務をおこなっています。



12:00 昼休憩

昼食・休憩をとります。午前中の業務が忙しかったり、午後からの業務次第では休憩の時間をずらしてとることもあります。検査業務は止めずに交代で休憩をしています。



緊張感のある業務中
つかの間の
ホッとできるひと時です☺



15:00

3D画像処理、 カンファレンスなど

CT検査、MRI検査による画像情報から脳、心臓、肺、肝臓などの臓器や骨、血管、腫瘍などを3D画像化し、診断や手術に必要な画像の作成や解析を行います。



2次元で表示される画像を様々な画像処理ソフトを駆使し3次元化しています。時間と技術を必要とする作業ですが、手術や治療にとっても有用なものになっています😊

17:15

終業

当直担当者に診療状況の報告、引継を行います。

終業点検で各装置の清潔、清掃をおこない、夜間の緊急検査に備えてから装置の電源を切って1日が終わります。



日勤者から夜勤者に業務を引き継ぎます。検査の状況によって残業で対応することもあります。



17:15~8:30

夜勤業務

当院は24時間、救急患者を受け付けています。また300床規模の入院患者さんもいます。そのため診療放射線技師も24時間体制で検査を行えるように夜勤担当者を配置しています。日勤終了17:15から翌朝の8:30まで検査対応しています。



当直業務は一人で全ての検査を行います。緊張感がありますが、やり終えると達成感も大きいです！



中央放射線部、診療放射線技師の一日はいかがだったでしょうか？
診療放射線技師が毎日、どのように業務にあたっているのか、
少しでも皆さんにお伝え出来たら幸いです。



病院探訪!!

第2回

～中央放射線部～



次に日々、業務にあたっているときによく受ける質問を紹介させていただきます。もっと身近に、中央放射線部、診療放射線技師を感じていただけるように、日々、業務をおこなっていきます！
これからもみなさん、どうぞよろしくおねがいします。



Q：検査結果について説明してほしいです。
ついでに他の部位も撮影してほしいです。

A：検査結果を診療放射線技師からお伝えすることは法律で禁止されています。医師のみが対応可能となっています。
また医師の指示のもと撮影を行っており、診療放射線技師が医師の指示なく撮影部位を追加することも法律で禁止されています。お手数ではございますが担当医師にご相談願います。



Q：胸部のエックス線写真を撮るときに、息を吸って止めるのは何故ですか？

A：息を吸わなくても、エックス線写真は写りますが、息を吸い込むと肺に空気が入って肺が広がり気管支、血管など肺内の構造が見やすくなり、よりの確な診断ができます。
また、息を止めるのは動きによって写真がボケないようにするためです。



Q：エックス線検査のときになぜ脱衣をするの？

A：衣服を着ていると財布などが入っていたり、衣類、ボタン、アクセサリーなどの影と一緒に写って病巣がかくれったり、診断の妨げになるからです。
また、姿勢や位置を正しくし、より良い検査をするために脱衣していただきます。ご協力をお願いします。





Q：CT検査（エックス線CT検査）とは どのような検査ですか？



A：CTとはコンピュータ断層法（Computed Tomography）の略です。CT装置は、エックス線管球からエックス線を出しながら、身体の目的の範囲を、らせん状に回転させてコンピュータを使って輪切り（断面）像を連続してうつしだすことで、身体の内部構造を検査することができます。



Q：MRI検査とは どのような検査ですか？



A：MRIとは磁気共鳴診断装置（Magnetic Resonance Imaging）の略です。CT装置と違って、エックス線の代わりに磁石と電波を利用して身体を構成している水素原子核から画像を作ります。
エックス線を使用しないために被曝が全くない検査ですがCT検査よりも時間が長くなります。
また検査中は小さなトンネルの中に入るため圧迫感があり、トントントンという大きな音が発生します。

みなさんから、よく頂く質問について少し紹介させていただきました。
多少なりとも疑問点や不安なところが解消できれば幸いです。
日々の検査などでも、疑問点などがありましたらお気軽に中央放射線部の
診療放射線技師までお尋ねください😊

中央放射線部は診療放射線技師24名が在籍し、現在の医療には欠かせない
様々な画像検査を幅広く行っています。
放射線を使ったX線装置やCT装置、放射線を使用しないMRI装置等を使用して
検査をし、病気の診断に必要な画像を医師に提供します。
「適切な診断や治療に欠かせない検査」を行い、非常に重要な役割を果たし
ています。
これからも一人ひとりが更なる自己研鑽に励み、放射線のプロとして
チーム医療に貢献し、質の高い医療の提供はもとより、社会に貢献
できるよう努力してまいります。また、何か放射線に関するご質問等
がございましたら、お気軽にご相談ください。



技師長 大園 一幸

● お知らせ ●

在宅ケアに関わる職種対象の講座

西和MC在宅支援講座 (Web)

- 令和5年12月7日(木) 17:30~18:30
がん薬物療法看護認定看護師
秋田わか



連携

医療職対象の講座

地域医療連携講座 (会場とWebのハイブリッド開催)

- 令和6年1月18日(木) 14:00~15:00
婦人科 看護部

*変更の可能性も
あります。詳細は
お問い合わせ下さい。



● 地域住民公開講座開催の報告

7月13日(木)王寺町地域交流センターリーベルホールにて3年ぶりに公開講座を開催しました。乳腺外科部長高島先生からは「乳がんの早期発見と早期治療」、形成外科副部長の真柴先生からは「形成外科ってどんな科?」というテーマで講演しました。また質問コーナーでは多くの質問を頂きました。



● 次回の地域住民公開講座のお知らせ **参加費:無料 定員:150名**

日時:令和6年2月1日(木)14:00~
場所:リーベル王寺東館5階
(王寺町地域交流センター)リーベルホール
講演①「おしりの病気について」
西和医療センター副院長 石川博文先生
講演②「目の健康寿命をのばしましょう」
西和医療センター眼科部長 山下真理子先生

事前申し込みは不要です。
当日に直接会場へお越し下さい。

【お問い合わせ】

西和医療センター・患者支援センター
☎0745-32-0505(代)

多くのご参加を
お待ちしております!!



★表紙掲載のロゴマークについて

奈良県西和医療センターは安全で良質な医療サービスを提供するため、国際基準を満たした品質マネジメントシステムを構築し、2022年12月12日にISO9001の認証を取得しました。継続的な改善活動に取り組んで「いい医療をより多くの患者さんへ」提供し、奈良県民に貢献します。

「ファミリー」は年に4回の発刊を予定しております。地域の皆様の健康に役立ち、親しまれ愛される紙面作りをめざしていきます。「ファミリー」とは、フランス語で「家族」という意味で、病院の理念「患者さんを家族のように愛する」から情報誌の名前としました。

住民の皆様役に役立つ情報・当院との連携についてなど、地域の登録医の先生方の投稿をお待ちしております。詳細は地域医療連携室にお問い合わせください。

発行・編集

奈良県西和医療センター情報誌

発行日 令和5年11月1日

編集者 地方独立行政法人奈良県立病院機構

奈良県西和医療センター 広報委員会

〒636-0802 生駒郡三郷町三室1-14-16

TEL:0745-32-0505(代表) FAX:0745-31-1354(地域医療連携室)

